

# 決 算 公 告

第13期

自 2019年 4月 1日  
至 2020年 3月 31日

株式会社ファーストステージ

# 貸借対照表

(2020年3月31日現在)

(単位:千円)

資 産 の 部		負 債 の 部	
科 目	金 額	科 目	金 額
<b>流動資産</b>	<b>12,487,003</b>	<b>流動負債</b>	<b>5,249,045</b>
現金及び預金	1,656,878	短期借入金	345,900
売掛金	608,942	1年内返済予定の長期借入金	4,143,310
販売用不動産	9,726,751	リース債務	41,035
前渡金	347,100	未払金	111,634
前払費用	100,087	未払費用	2,567
その他	47,368	未払法人税等	314,103
貸倒引当金	△125	未払消費税等	16,485
		預り家賃	92,773
<b>固定資産</b>	<b>749,346</b>	前受金	87,808
<b>有形固定資産</b>	<b>539,395</b>	預り金	89,941
建物	5,782	その他	3,484
構築物	5,852		
機械及び装置	105,750	<b>固定負債</b>	<b>5,729,034</b>
工具、器具及び備品	4,486	社債	120,000
リース資産	311,338	長期借入金	5,243,145
土地	106,185	リース債務	329,594
その他	0	繰延税金負債	36,294
<b>無形固定資産</b>	<b>3,599</b>		
ソフトウェア	3,599	<b>負債合計</b>	<b>10,978,080</b>
<b>投資その他の資産</b>	<b>206,351</b>	<b>純資産の部</b>	
敷金	38,092	<b>株主資本</b>	<b>2,258,270</b>
長期前払費用	33,765	<b>資本金</b>	<b>80,000</b>
保険積立金	118,183	<b>資本剰余金</b>	<b>938,375</b>
出資金	5,210	その他資本剰余金	938,375
その他	13,650	<b>利益剰余金</b>	<b>2,056,829</b>
貸倒引当金	△2,550	利益準備金	10,000
		その他利益剰余金	
		別途積立金	320,000
		特別償却準備金	151,007
		繰越利益剰余金	1,575,822
		<b>自己株式</b>	<b>△816,934</b>
		<b>純資産合計</b>	<b>2,258,270</b>
<b>資産合計</b>	<b>13,236,350</b>	<b>負債・純資産合計</b>	<b>13,236,350</b>

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

# 損 益 計 算 書

〔 自 2019年4月 1日から  
至 2020年3月 31日まで 〕

(単位：千円)

科 目	金 額	
売 上 高		10,585,611
売 上 原 価		7,786,629
売 上 総 利 益		2,798,981
販 売 費 及 び 一 般 管 理 費		1,465,021
営 業 利 益		1,333,960
営 業 外 収 益		
受 取 利 息 及 び 配 当 金	89	
保 険 解 約 益	39,282	
そ の 他	3,651	43,022
営 業 外 費 用		
支 払 利 息	146,169	
融 資 手 数 料	27,080	
そ の 他	3,164	176,413
経 常 利 益		1,200,569
税 引 前 当 期 純 利 益		1,200,569
法 人 税、住 民 税 及 び 事 業 税	412,276	
法 人 税 等 調 整 額	△25,369	386,907
当 期 純 利 益		813,662

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

# 株主資本等変動計算書

〔 2019年4月1日から  
2020年3月31日まで 〕

(単位：千円)

	株主資本							利益剰余金 合計
	資本金	資本剰余金		利益準備金	利益剰余金			
		その他 資本剰余金	資本剰余金 合計		その他利益剰余金			
					別途積立金	特別償却 準備金	繰越利益 剰余金	
当期首残高	80,000	938,375	938,375	10,000	320,000	207,426	705,740	1,243,166
当期変動額								
特別償却準備金の取崩						△ 56,419	56,419	—
当期純利益							813,662	813,662
当期変動額合計	—	—	—	—	—	△ 56,419	870,082	813,662
当期末残高	80,000	938,375	938,375	10,000	320,000	151,007	1,575,822	2,056,829

	株主資本		純資産合計
	自己株式	株主資本 合計	
当期首残高	△ 816,934	1,444,607	1,444,607
当期変動額			
特別償却準備金の取崩		—	—
当期純利益		813,662	813,662
当期変動額合計	—	813,662	813,662
当期末残高	△ 816,934	2,258,270	2,258,270

(注) 記載金額は、千円未満を切り捨てて表示しております。

# 個別注記表

## 重要な会計方針に係る事項に関する注記

### 1 資産の評価基準及び評価方法

#### 販売用不動産

個別法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切り下げの方法）

### 2 固定資産の減価償却の方法

#### （1）有形固定資産（リース資産を除く）

定率法を採用しております。ただし、1998年4月1日以降に取得した建物（建物附属設備を除く）並びに2016年4月1日以降に取得した建物附属設備及び構築物については定額法を採用しております。

#### （2）無形固定資産

定額法を採用しております。

なお、自社利用のソフトウェアについては、社内における利用可能期間（5年）に基づいております。

#### （3）リース資産

##### ・所有権移転外ファイナンス・リース取引に係るリース資産

リース期間を耐用年数とし、残存価額を零とする定額法を採用しております。

##### ・所有権移転ファイナンス・リース取引に係るリース資産

自己所有の固定資産に適用する減価償却方法と同一の方法を採用しております。

### 3 引当金の計上基準

#### （1）貸倒引当金

債権等の貸倒損失に備えるために、一般債権については貸倒実績率により、貸倒懸念債権等特定の債権については個別に回収可能性を検討し、回収不能見込額を計上しております。

#### （2）家賃保証引当金

サブリース契約に伴い発生する損失に備えるために、損失見込額を計上しております。

### 4 その他計算書類作成のための基本となる重要な事項

#### 消費税等の会計処理

消費税及び地方消費税の会計処理は、税抜方式によっております。

## 貸借対照表に関する注記

### 1 担保に供している資産及び担保に係る債務

#### (1) 担保に供している資産

	(単位：千円)
販売用不動産	9,472,286
建物	1,109
構築物	5,852
機械及び装置	105,750
土地	105,990
保険積立金	64,560
計	9,755,549

#### (2) 担保に係る債務

	(単位：千円)
1年内返済予定の長期借入金	4,075,004
長期借入金	5,176,863
計	9,251,868

2 有形固定資産の減価償却累計額 321,957千円

## 株主資本等変動計算書に関する注記

(1) 当事業年度の末日における発行済株式の種類及び総数 普通株式 2,484,000株

(2) 当事業年度の末日における自己株式の種類及び数 普通株式 1,200,000株

## 税効果会計に関する注記

繰延税金資産及び繰延税金負債の発生の主な原因別の内訳

	(単位：千円)
繰延税金資産	
未払事業税	30,958
減価償却超過額	9,396
未払社会保険料	2,572
その他	492
繰延税金資産小計	43,419
評価性引当額	—
繰延税金資産合計	43,419
繰延税金負債	
特別償却準備金	△79,713
繰延税金負債合計	△79,713
繰延税金負債の純額	△36,294

## 金融商品に関する注記

### 1 金融商品の状況に関する事項

#### (1) 金融商品に対する取組方針

当社は、主に不動産販売事業及び売電事業を行うための事業計画に照らして必要な資金を、主に銀行等金融機関からの借入により調達しております。なお、投機目的のデリバティブ取引は行わない方針であります。

#### (2) 金融商品の内容及びそのリスク

借入金、不動産販売事業及び売電事業における不動産の仕入に必要な資金及び運転資金であり、社債は、運転資金であります。リース債務は、設備投資を目的としたものであります。借入金の一部は金利変動リスクに晒されております。

#### (3) 金融商品に係るリスク管理体制

##### ①市場リスクの管理

金利変動リスクについては、借入金に係る支払い金利の変動リスクを抑制するために、金融機関より金融商品に関する情報を収集し、定期的に借入先及び契約内容の見直しを実施しております。

##### ②資金調達に係る流動性リスク（支払期日に支払いを実行できなくなるリスク）の管理

当社は、各部署からの報告に基づき管理本部が適時に資金繰計画を作成・更新するとともに、手許流動性の維持等により、流動性リスクを管理しております。

#### (4) 金融商品の時価等に関する事項についての補足説明

金融商品の時価には、市場価格に基づく価額のほか、市場価格がない場合には合理的に算定された価額が含まれております。当該価額の算定においては変動要因を織り込んでいるため、異なる前提条件等を採用することにより、当該価額が変動することもあります。

### 2 金融商品の時価等に関する事項

2020年3月31日における貸借対照表計上額、時価及びこれらの差額については、次のとおりであります。なお、時価を把握することが極めて困難と認められるものは含まれておりません。

	貸借対照表計上額 (千円)	時価 (千円)	差額 (千円)
(1) 現金及び預金	1,656,878	1,656,878	—
資産計	1,656,878	1,656,878	—
(1) 短期借入金	345,900	345,900	—
(2) 長期借入金(※1)	9,386,456	9,392,215	5,758
(3) リース債務(※1)	370,629	382,826	12,196
(4) 社債	120,000	118,873	△1,126
負債計	10,222,986	10,239,814	16,828

(※1) 1年以内に返済予定分を含めて表示しております。

(注) 金融商品の時価の算定方法

資 産

(1) 現金及び預金

短期間で決済されるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

負 債

(1) 短期借入金

すべて短期間で決済されるものであるため、時価は帳簿価額と近似していることから、当該帳簿価額によっております。

(2) 長期借入金及び (3) リース債務並びに (4) 社債

変動金利分に関しては、短期間での市場金利を反映することから、時価と簿価は近似しているため、簿価を時価とみなしております。固定金利分に関しては、元利金の合計額を新規に同様の借入を実行した場合に想定される利率で割り引いた現在価値により算定しております。

## 関連当事者との取引に関する注記

### 役員及び個人主要株主等

種類	会社等の名称 又は氏名	事業の内容 又は職業	議決権等の 所有(被所 有)割合 (%)	関連当事者 との関係	取引の内容	取引金額 (千円)	科目	期末残高 (千円)
役員及び 個人主要 株主	中野 秀樹	当社 代表取締役 CEO	(被所有) 直接 65.4 間接 6.5	債務被保証	当社借入に対する 連帯保証(注)1	1,332,986	—	—
					リース契約の連帯 保証(注)2	363,826	—	—

(注) 1. 当社の銀行借入の一部に対して代表取締役CEO中野秀樹より連帯保証を受けております。

なお、これに伴う保証料の支払は行っておりません。

2. 当社のリース契約の一部に対して代表取締役CEO中野秀樹より連帯保証を受けております。

なお、これに伴う保証料の支払は行っておりません。

3. 取引金額には、消費税等を含めておりません。

## 1 株当たり情報に関する注記

1 株当たり純資産 1,758円78銭

1 株当たり当期純利益 633円69銭

(注) 1 株当たり純資産及び 1 株当たり当期純利益は、当事業年度に行いました株式の分割が当事業年度の期首に行われたと仮定してそれぞれ算定しております。